

○荒川遊園スポーツハウス条例

平成22年12月10日

条例第44号

改正 平成26年3月26日条例第3号

改正 令和7年12月17日条例第40号

(設置)

第1条 区民の健康の増進と体力の維持向上を図るとともに、スポーツ及びレクリエーションの普及・振興に寄与し、誰もがスポーツ及びレクリエーションに親しむ機会を確保することができるようにするため、荒川遊園スポーツハウス（以下「スポーツハウス」という。）を東京都荒川区西尾久八丁目3番1号に設置する。

(事業)

第2条 スポーツハウスは、前条に規定する目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) スポーツハウスの施設及び附帯設備（以下「施設等」という。）の利用に関すること。
- (2) 区民の健康の増進及び体力の維持向上並びにスポーツ及びレクリエーションの普及・振興に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、区長が必要と認める事業

(施設)

第3条 スポーツハウスには、次の施設を設ける。

- (1) アリーナ
- (2) トレーニングルーム
- (3) 温水プール
- (4) スタジオ
- (5) エントランスホール
- (6) キッズルーム

(指定管理者による管理)

第4条 スポーツハウスの管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であつて、区長が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

(指定管理者の指定の申請)

第5条 前条の規定による指定を受けようとするものは、申請書に事業計画書その他荒川区規則（以下「規則」という。）で定める書類を添付して区長に申請しなければならない。

(指定管理者の指定)

第6条 区長は、次に掲げる基準を総合的に審査し、スポーツハウスの管理を行わせるに最適な団体を指定管理者の候補者として選定し、議会の議決を経て指定管理者に指定しなければならない。

- (1) 事業計画書の内容が、利用者に対する最適なサービスの確保に資するものであること。
- (2) 事業計画書の内容が、スポーツハウスの適切な維持及び管理を図ることができるものであること並びに管理に係る経費の縮減が図られるものであること。
- (3) 事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力及び人的能力を有しているものであること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、スポーツハウスの設置目的を達成するために十分な能力を有しているものであること。

2 区長は、前項の規定により指定管理者を指定したときは、その旨を告示するものとする。

(指定管理者が行う業務)

第7条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 第2条に規定する事業に関する業務
- (2) 第11条及び第12条に規定する利用の承認及び不承認に関する業務
- (3) 第14条から第16条までに規定する料金の収受、減免及び還付に関する業務
- (4) 第18条に規定する施設等の変更の承認に関する業務

- (5) 第19条に規定する利用承認の取消し等に関する業務
- (6) 施設等の維持管理に関する業務
- (7) 前各号に掲げるもののほか、区長が必要と認める業務

(休館日)

第8条 スポーツハウスの休館日は、次のとおりとする。ただし、区長が必要と認めるとき、又は指定管理者が必要と認め、区長が承認したときは、これを変更し、又は臨時に休館日を定めることができる。

- (1) 1月1日から同月3日まで
- (2) 12月29日から同月31日まで

(開館時間)

第9条 スポーツハウスの開館時間は、午前8時から午後10時30分までとする。ただし、区長が必要と認めるとき、又は指定管理者が必要と認め、区長が承認したときは、これを変更することができる。

(施設を利用できる者)

第10条 スポーツハウスの施設のうち、トレーニングルームを利用できる者は、15歳以上の者(15歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者を除く。)とする。

2 スポーツハウスの施設のうち、温水プールを利用できる者は、個人とする。ただし、区長が必要と認めるとき、又は指定管理者が必要と認め、区長が承認したときは、この限りでない。

(利用の承認)

第11条 施設等(第3条第6号の施設を除く。)を利用しようとする者は、あらかじめ規則で定めるところにより指定管理者に申請し、その承認を受けなければならない。

2 指定管理者は、前項の利用の承認をするに際して、管理上必要な条件を付けることができる。

(利用の不承認)

第12条 指定管理者は、前条第1項の規定による申請が次の各号のいずれかに該当するときは、同項の利用の承認をしないものとする。

- (1) 第1条に規定する目的に反すると認められるとき。
- (2) 公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあると認められるとき。
- (3) 営利を目的とするものであると認められるとき。
- (4) スポーツハウスの施設等を毀損するおそれがあると認められるとき。
- (5) スポーツハウスの管理上支障があると認められるとき。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、指定管理者が特に利用を不適當と認めるとき。

(利用料金)

第13条 施設等の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）は、別表第1及び別表第2に掲げる額の範囲内において、指定管理者が区長の承認を得て定めるものとする。

2 利用料金は、指定管理者の収入とする。

(利用料金の納付)

第14条 第11条第1項の規定により利用の承認を受けた者（以下「利用者」という。）は、利用料金を指定管理者に前納しなければならない。

(利用料金の減免)

第15条 指定管理者は、規則で定めるところにより、利用料金（附帯設備に係る料金を除く。）を減額し、又は免除することができる。

(利用料金の不還付)

第16条 既納の利用料金は、還付しない。ただし、指定管理者は、特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

(利用権の譲渡等の禁止)

第17条 利用者は、利用の権利を譲渡し、若しくは転貸し、又は承認を受けた目的以外に利用することができない。

(施設等の変更の禁止)

第18条 利用者は、施設等に特別の設備をし、又は変更を加えてはならない。ただし、あらかじめ指定管理者の承認を受けたときは、この限りでない。

(利用承認の取消し等)

第19条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、利用の承認を取り消し、又は利用を制限し、若しくは停止することができる。

- (1) この条例又はこれに基づく規則に違反したとき。
- (2) 利用条件に違反したとき。
- (3) 指定管理者の指示に従わなかったとき。
- (4) 災害その他の事故により施設等の利用ができなくなったとき。
- (5) 工事その他の都合により指定管理者が特に必要と認めるとき。

(原状回復の義務)

第20条 指定管理者は、その指定の期間が満了したとき、又は指定を取り消されたとき、若しくは管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられたときは、その管理しなくなった施設等を直ちに原状に回復しなければならない。

2 利用者は、利用を終了したときは、利用した施設等を直ちに原状に回復しなければならない。前条の規定により利用の承認を取り消され、又は利用を停止されたときも、同様とする。

(損害賠償の義務)

第21条 施設等に損害を与えた者は、その損害を賠償しなければならない。ただし、区長は、やむを得ない理由があると認めるときは、賠償額を減額し、又は免除することができる。

(委任)

第22条 この条例の施行について必要な事項は、規則で定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、平成23年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 荒川区立公園条例の一部を改正する条例（平成22年荒川区条例第49号）による改正前の荒川区立公園条例（以下「旧荒川区立公園条例」という。）に基づく荒川遊園スポーツハウスは、この条例に基づくスポーツハウスとなり、同一性をもって存続するものとする。
- 3 この条例の施行の際、旧荒川区立公園条例の規定により、現にスポーツハウスの施設等の利用の承認を受けている者は、この条例の相当の規定に基づいて利用の承認を受けたものとみなし、その使用料については、なお従前の例による。
- 4 旧荒川区立公園条例の規定によりスポーツハウスの施設を個人で利用する者に対して発行されたプリペイド・カード等については、この条例の施行の日以後においても、なお従前の例により使用することができる。

附 則（平成26年3月26日条例第3号抄）

(施行期日)

- 第1条 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

(荒川区立町屋文化センター条例等の一部改正に伴う経過措置)

- 第10条 この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前に附則第3条から前条までの規定による改正前の荒川区立町屋文化センター条例、荒川区立生涯学習センター条例、荒川区立清里高原少年自然の家条例、荒川区立清里高原ロッジ条例、荒川総合スポーツセンター条例、荒川遊園スポーツハウス条例及び荒川区営運動場の設置、管理に関する条例（以下これらを「旧条例」という。）の規定により荒川区教育委員会がした処分その他の行為でこの条例の施行の際現に効力を有するもの（次条に規定するものを除く。）又は旧条例の規定により荒川区教育委員会に対してされた申請その他の行為で、施行日以後において区長が管理し、及び執行することとなる事務に係るものは、それぞれ附則第3条から前条までの規定による改正後の荒川区立町屋文化センター条例、荒川区立生涯学習センター条例、荒川区立清里高原少年自然の家条例、荒川区立清里高原ロッジ条例、荒川総合スポーツセンター条例、荒川遊園スポーツハウス条例及び荒川区営運動場の設置、管理に関する条例（以下これらを「新条例」という。）の規定により区

長がした処分その他の行為又は区長に対してされた申請その他の行為とみなす。

（指定管理者の指定に関する経過措置）

第11条 施行日前に旧条例の規定により荒川区教育委員会がした指定管理者の指定に係る処分その他の行為（指定に基づく協定書の締結等を含む。以下「指定等」という。）でこの条例の施行の際現に効力を有するものは、それぞれ新条例の規定により区長がした指定等とみなす。

附 則（令和7年12月17日条例第40号抄）

（施行期日）

（施行期日）

1 この条例は、公布の日から起算して1年6月を超えない範囲内において荒川区規則で定める日から施行する。ただし、次項及び附則第4項の規定は、公布の日から施行する。

（経過措置）

2 荒川遊園スポーツハウス（以下「スポーツハウス」という。）に係る指定管理者の指定に関し必要な行為は、改正後の荒川遊園スポーツハウス条例（以下「新条例」という。）の規定の例により、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前においても行うことができる。

3 改正前の荒川遊園スポーツハウス条例（以下「旧条例」という。）の規定及び次項の規定により施行日前に行った施行日以後のスポーツハウスの利用に係る区長の許可等の行為又は施行日前になされた施行日以後のスポーツハウスの利用に係る区長に対する申請等の行為は、施行日以後においては、新条例の規定により指定管理者が行った許可等の行為又は指定管理者に対する申請等の行為とみなす。

4 新条例第3条第4号及び第5号の施設の利用に係る承認等の行為又は申請等の行為については、旧条例の規定の例により、施行日前においても行うことができる。

5 旧条例第11条の規定によりスポーツハウスの施設を個人で利用する者に対して発行されたプリペイド・カード等については、施行日以後においても、なお従前の例により使用することができる。

別表第 1（第 13 条関係）

1 団体利用（区内団体）

利用単位		午前	午後Ⅰ	午後Ⅱ	夜間	全日
種別		午前9時から 午前12時まで	午後零時30分 から午後3時 まで	午後3時30分 から午後6時 まで	午後6時30分 から午後9時 30分まで	午前9時から 午後9時30分 まで
アリーナ	全面	5,200円	6,500円	6,500円	8,900円	25,100円
	半面	2,600円	3,200円	3,200円	4,400円	12,500円
温水プール	全室	23,800円	29,300円	29,300円	40,500円	111,700円
	25メートルプール	21,200円	25,800円	25,800円	35,700円	98,300円
	子ども用プール	3,800円	4,700円	4,700円	6,600円	18,300円
スタジオ		3,900円	4,800円	4,800円	7,000円	18,500円
エントランスホール		3,300円	3,900円	3,900円	5,500円	15,200円
附帯設備		2,700円	2,700円	2,700円	2,700円	10,900円

2 団体利用（区外団体）

利用単位		午前	午後Ⅰ	午後Ⅱ	夜間	全日
種別		午前9時から 午前12時まで	午後零時30分 から午後3時 まで	午後3時30分 から午後6時 まで	午後6時30分 から午後9時 30分まで	午前9時から 午後9時30分 まで
アリーナ	全面	6,200円	7,800円	7,800円	10,700円	30,100円
	半面	3,100円	3,800円	3,800円	5,300円	15,000円
温水プール	全室	28,600円	35,200円	35,200円	48,600円	134,000円
	25メートルプール	25,400円	31,000円	31,000円	42,800円	118,00円
	子ども用プール	4,600円	5,600円	5,600円	7,900円	22,000円
スタジオ		4,700円	5,800円	5,800円	8,400円	22,200円
エントランスホール		4,000円	4,700円	4,700円	6,600円	18,200円
附帯設備		3,200円	3,200円	3,200円	3,200円	13,100円

備考

- 1 利用単位をまたがって施設等を引き続き利用する場合の利用料金の額は、それぞれの利用料金の合算額とする。
- 2 施設等の利用は、原則として、この表に定める利用単位によることとする。また、当該利用単位以外の時間において施設等を利用する場合には、利用時間 1 時間（1 時間に満たない端数は、これを 1 時間とする。）につき、当該施設等の午後Ⅰの規定利用料金の額の 100 分の 40 に相当する額（100 円未満は、切り上げる。）以内の

額の利用料金を徴収する。

3 区内団体とは、区の区域内に住所若しくは事務所若しくは事業所（以下「事務所等」という。）を有し、若しくは区の区域内の事務所等に勤務する者又は区の区域内の学校に在学する者の団体をいう。

4 区外団体とは、区内団体を除いた団体をいう。

別表第2（第13条関係）

個人利用

種別	利用単位	一般	中学生以下
アリーナ	3時間	600円	200円
トレーニングルーム	3時間	500円	—
温水プール	2時間	600円	250円
スタジオ	3時間	400円	150円

備考 利用単位の時間を超えて施設を利用する場合の利用料金の額は、超過時間30分（30分に満たない端数は、これを30分とする。）につき、150円（中学生以下にあっては、50円）以内の額の超過料金を徴収する。